

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組 ～ 6 組
 教科担当者： (1組：金澤・柚木・鈴木) (2組：金澤・柚木・鈴木) (3組：金澤・柚木・鈴木) (4組：金澤・柚木・鈴木) (5組：金澤・柚木・鈴木) (6組：金澤・柚木・鈴木)
 使用教科書： (大修館書店「言語文化」)
 教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】教科書の中のもの漢字の読み書きができ、語彙をほぼ理解して使うことができる。
 【思考力、判断力、表現力等】文章を読んで自分の考えを書くことができ、他者の話を聞いて自分の意見を伝えることができる。
 【学びに向かう力、人間性等】自ら課題を見つけ積極的に取り組むことができ、他者と協働して課題に取り組むことができる。

科目	言語文化	目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
			教科書の中のもの漢字がほぼ理解できる。 複数の資料を活用したり関連させたりすることができる。 言語文化の背景や現代とのつながりについて理解できる。	文章を讀んだり話を聞いて自ら主題を理解することができる。 視覚を示して自分の考えを書いたり話したりすることができる。	規律を守って授業に取り組むことができる。 提出物の期限を守って課題に取り組むことができる。 分からないことや興味を持ったことについて自ら課題を設定し、学びを深めることができる。 他者と協働して課題に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	感	担当 時数	
			読	書	話						
1 学 期	<p>【知識及び技能】 ○「読むこと」において、文章の成立や今様形式について知り、おおよその意味内容を知ってから音読する。</p> <p>古文編 1 古文に親しむ 平治物語「見ゆぞらむ」 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・「読むこと」において、異なる時代や成立した階級や職、物語等を読み比べ、それらと比較して論じたり評価したりする活動を実施している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。</p>	<p>○「読むこと」の成立や今様形式について知り、おおよその意味内容を知ってから音読する。</p> <p>○重要語句を古語辞典で調べさせる。 ○説明を受けた大意を繰り返し読む。 ○登場人物の行動と心境をノートにまとめる。 ○語句のふた通りの読み方を考える。 ○笑い話であることを理解させる。 ○登場人物の行動や心境と重なる自分の経験をノートに書き出す。</p>				<p>【知識及び技能】 ○歴史的仮名遣いについて理解し、本文を音読している。 ○文語や品詞の種類を理解し、本文を文節や文切、新出語句、重要語句を調べている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○本文の大意を理解し、登場人物の心境、語り手の意図を説明している。 ○登場人物の心境と重なる自分の経験を説明している。 ○語句のふた通りの読み方を考える。 ○笑い話としての面白さを説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○教材に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ○古文に親しもうとしている。 ○登場人物や舞台について自分の言葉でまとめている。</p>					8
	<p>定期考査</p> <p>古文編 4 人との交わり 伊勢物語「問井筒」 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化において、特徴的な文語の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使用することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化において、特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典作品を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現等について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、展開等について叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものが見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品等との関係を読み、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。</p>	<p>○古典作品の中に、現代でも用いられる言葉を見出すことで、その共通点や差異について考えるように促す。 ○折句のおもしろさや気づくよう支援する。 ○文語のきまりや表現については暗記を優先するのではなく、その表現効果を感じたいことを目指す。 ○歌物語については、和歌と訓書等の関係について確認し、内容については大意が把握できるよう支援する。 ○古人の歌の様子については、資料を用いて具体的にイメージできるように促す。 ○和歌の修辞技法については、身近な言葉で創作することにより、その表現効果に気づけるよう支援する。</p>				<p>【知識及び技能】 ○作品に表れた言葉の意味や文化的背景を理解し、興味関心を持つことによって語感を豊かにしている。 ○折句の表現技法とその効果について理解し、文章表現を深く味わっている。 ○古典を読むために必要な文語のきまりや表現について理解し、物語の世界をより深く味わっている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○歌物語について理解し、語の展開や登場人物の心情を叙述に基づいて的確に捉えている。 ○本文の趣意をふまえて、本文が他の作品や制作物に及ぼした影響について深く理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○古人の歌の様子について興味を持ち、資料で調べたり、和歌の修辞技法を自分の文章表現に取り入れ、表現効果を感じようとしている。</p>					12
	<p>定期考査</p>										1
2 学 期	<p>現代文編 2 言葉の紡ぐ世界 「羅生門」(前半) 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みが慣れ、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものが見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとしている。</p>	<p>○わからない漢字の読みを確認し、自ら書けるようにする。 ○下人の心情が描写されている箇所を抜き出させ、どのような心情なのかを確認する。 ○各場面の比喩表現について、どのような印象を受けるかを確認する。 ○「羅生門」の学習から、古典文学への関心を深める。</p>				<p>【知識及び技能】 ○場面の展開を把握しながら本文を正確に音読でき、ワークシート等で新たに学んだ漢字を的確に用いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面ごとに状況によって変化していく下人の心情を的確に捉えた上で、作品のテーマについて考えられている。 ○作品の展開を把握しながら、各場面の比喩表現や情景描写の特徴について説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○各場面毎に印象を話し合ったり、意見を出し合ったりすることで、他者の意見について関心を持ち、様々な考え方を取り入れようとしている。</p>					18
	<p>定期考査</p> <p>「羅生門」(後半) 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みが慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものが見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、言葉をおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。</p>	<p>○わからない漢字の読みを確認し、自ら書けるようにする。 ○「今昔物語集」の話の内容を理解し、「羅生門」との違いを確認する。 ○下人の心情が描写されている箇所を抜き出させ、どのような心情なのかを確認する。 ○各場面の比喩表現について、どのような印象を受けるかを確認する。 ○「羅生門」の学習から、古典文学への関心を深める。</p>				<p>【知識及び技能】 ○場面の展開を把握しながら本文を正確に音読でき、ワークシート等で新たに学んだ漢字を的確に用いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面ごとに状況によって変化していく下人の心情を的確に捉えた上で、作品のテーマについて考えられている。 ○作品の展開を把握しながら、各場面の比喩表現や情景描写の特徴について説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○各場面毎に印象を話し合ったり、意見を出し合ったりすることで、他者の意見について関心を持ち、様々な考え方を取り入れようとしている。</p>					8
	<p>現代文編 1 漢文に親しむ 松たけ漢文 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開等について叙述をもとに的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものが見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品等との関係を読み、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文訓読のきまりを理解しようとしている。 ・現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。</p>	<p>○漢文・漢字が日本語や日本文化に影響を与えたことを認識させる。 ○漢文が外国語ではないことを確認させる。</p>				<p>【知識及び技能】 ○漢文・漢字が日本語や日本文化に与えた影響について調べ、説明できる。 ○漢文が日本語や日本文化の土台となる古典であることを説明できる。</p>					1
3 学 期	<p>現代文編 1 漢文に親しむ 論語 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりや古典特有の表現等について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開等について叙述をもとに的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものが見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品等との関係を読み、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文訓読のきまりを理解しようとしている。 ・現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。</p>	<p>○基本的な訓読のきまりを確認している。 ○漢和辞典の使い方を確認させ、語句の意味を調べさせる。 ○対句的な文章表現が用いられている箇所を理解している。 ○孔子が生まれた時代背景について確認させる。 ○それぞれの章の内容を脚注を参照しながら現代語訳している。 ○「論語」の本文から生まれた年齢層の呼称について確認する。 ○「字」と「音」の意味の違いがどのように説明されているかを確認する。 ○孔子の学問、政治に対する考え方を確認させる。</p>				<p>【知識及び技能】 ○基本的な訓読のきまりを理解し、説明できる。 ○重要語句や句法、漢字の意味を確認するため、漢和辞典を活用している。 ○対句的な文章表現とその効果について理解し、説明している。 ○「論語」に表れた孔子の考え方を理解し、孔子が登場した時代背景について説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○それぞれの章の本文の構成を把握し、内容を正しくまとめている。 ○「論語」の本文から生まれた年齢層ごとの呼称について理解し、説明できる。 ○「字」と「音」の意味の違いに関心を持ち、漢和辞典等で調べ、説明できる。 ○孔子の学問、政治に対する考え方を理解し、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○教材に興味をもって意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>					10
	<p>現代文編 2 現代に生きる言葉 紀元定 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりや古典特有の表現等について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開等について叙述をもとに的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものが見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品等との関係を読み、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文訓読のきまりを理解しようとしている。 ・現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。</p>	<p>○古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現等を適切に用いている。 ○鑑読をした後一緒に音読したり、書き下しを板書したものや書き下し文を参考にしながら音読したり、誰が何をしているのかを一つずつ理解させる。</p>				<p>【知識及び技能】 ○古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現等を適切に用いている。 ○本文を正確に音読でき、的確に書き下し文に直すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○登場人物の関係や時代背景等を正確に理解し、説明できる。 ○話の展開を理解し、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○教材に興味をもって意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>					10
	<p>定期考査</p>										1